

Title: 「シノゴのオンナ」



小林 真純
人前に出るのは大の苦手です。もちろん写真に撮られるのも。顔つきついていませんか？

● 最近のエントリー

- ☞ [ネギだけ刻んでください](#)
(2010.04.27)
- ☞ [あきながしゃくしゃくして](#)
る
(2010.04.20)
- ☞ [豚の角煮](#)
(2010.04.15)
- ☞ [K & K → I](#)
(2010.04.13)

● アーカイブ

- ☞ [2011年02月](#)
- ☞ [2010年11月](#)
- ☞ [2010年10月](#)
- ☞ [2010年09月](#)
- ☞ [2010年08月](#)
- ☞ [2010年07月](#)
- ☞ [2010年06月](#)
- ☞ [2010年05月](#)
- ☞ [2010年04月](#)
- ☞ [2010年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.27

■ ネギだけ刻んでください

Tweet

いいね! 0

チェック

カンボジアからネット環境が悪くなることは聞いていたけれど、いざそうなるとやっぱり困ります。特に今は、タイへの入国が中止されカンボジアから直接マレーシア (KL) へ移動することになり、つまりタイでの滞在予定日数がまるまるマレーシアに持ち越されたわけで... 新たにマレーシアでの行動予定を組まなければいけないのにしょっちゅう切れるわ止まるわ遅いわで... みんな悪戦苦闘しています。

なので、申し訳ありませんがカンボジアを一気にさっくり。といっても十分長いですが、ちなみにマレーシアへの移動は明日(4/28)の早朝です。今日は早めに寝ないと。

<カンボジア前半>

◇ 4月14日



ベトナムから陸路で入国。お正月ということもあって、大通りでも人影は少なく静かです。

◇ 4月15日

指定泊への移動の次の日は、恒例となりつつある みんなで交通機関の確認。そしてそのままお昼へ。カンボジアは行ける都市が少ないので大体みんな固まっています。



フィルム組は遅くまでホテルのロビーでミーティングをしていました。

◇ 4月16日

この日はロケハンでプノンベンから南へ60km程下ったところにあるプノン・テソールへ。頂上を目指して800段の階段を登らねばなりません。ホテルへ戻る時に正月参拝帰りの洗滞に巻き込まれ、定時連絡の時間を過ぎてしまうという大失態も；。

東京教務課の皆さま、引率の船倉局長、同じホテル・別都市にいたクラスメイト連、改めて、ご心配をおかけしました。以後、こういったことが二度とないよう注意します。町に着くとトゥクトゥクを飛び降りて速攻でネットカフェへ。連絡を終えると外はどしゃ降り...



◇ 4月17日

プノンベンの撮影が終わった。連日の上からカンボジアの平原を撮りたかったんですけど...

ブンペンでの撮影は、諦めました。道路の上がブンペンの上空に飛んだが、つらすぎて...
ど、木が残っていて...



こんなん

なのでこの日は岡田と一緒にトゥールスレンへ行きました。トゥールスレンは、後に岡田曰く
キリンダフィールドより見るものがたくさんある、とのこと。撮影はうまくいったんでしょうか。



◇4月18日

谷本のブンペンでの撮影は機織りの村。もしかしたら自分の撮影対象があるかも!?、と一纏の
望みを抱いて同行。ついでに岡田も。結局被写体は見つかりませんでした。



複数の糸を巻く作業。これが終わると 機織りに入ります

◇4月19日



ブンペンでの移動日。朝、現地のコーディネーターと打ち合わせをする槽たちを横目にバス
へ乗車。(見えますか? もじゃもじゃ)



シェムリへ着くとさっそく引率組のホテルへ向かいました。徒歩で5分だったんですよ、近!



◇4月20日

この日は野尻の撮影と自分のロケハンをかかねて トンレサップ湖方面へ観光に。浅井・浜口・岡田も一緒です。



撮影予定地のブノン・クロム、聖なる山

そして一日遅れで同じゲストハウスに到着した穂積・矢野を待って、本校の藤井校長先生と懇意にいらっしやるTea Timeの森下さんご夫婦に招待された お店の新年会へ。



森下さん、ありがとうございました。そしてごちそうさまでした。
久々の日本のカレーはすごく美味しかったです。それから奥様おすすめのぜんざいも。

(誰がどこにいるでしょーか！ 少なくとも5人はいるはずです)

カテゴリ：
post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.27 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.20

あきながしゃくしゃくしてる

[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)

ベトナム・カオバンでの残り数日は残念な結果になってしまいました...

◇4月7日



朝 ホテルを出て1ブロック歩くか歩かないかというところで突然の雨。しかも雷雨。
ホテルに帰っても停電中なので、その辺の店先に座り込んで雨が止むのを待つことに。
軒先を宣してくれたおばちゃんに簡易ベトナム語のレッスンを受けながら午前中いっぱい泣
れてしまいました....。ベトナム語は発音にダメ出しされてばかりだった；

◇4月8日

町の周辺ではなくバンゾック滝への中で見つけたポイントで撮影をしようとバスに乗り、
道端で降りてもらって歩きながらの撮影。とはいってもそこは山道、バスではちょっとの距
離でも徒歩だと結構時間がかかります。ポイントごとのおおよその距離は測ってあるので、次
のポイントまで距離がある場合はヒッチハイク。さすがに最後に町へ帰る時には通りがかった
バスを捕まえました。





ひたすらに歩く。



最後のバスで乗り合わせたおばちゃん達に「どっからきたの？」と聞かれ、バンゾックからカオパンまで行くこととした、と答えたら..

大・爆・笑

あんたそりゃ無茶だよ！無謀だよ！と言ってバスの中は笑いの渦です。
いや、ヒッチハイクもしてなし、まるまる91km歩くとしてたわけじゃないんだよ...と、言いたくても言えない...

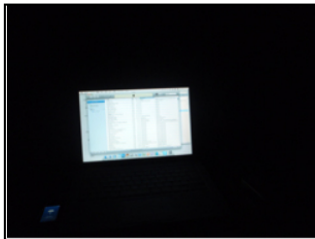
そんなに笑わなかったって； ...

◇4月9日

この日もバス+徒歩+ヒッチハイク+バス。しかし朝から怪しかった露がどんどん濃くなる...
どんどん濃くなる...

時間が経つに連れて降りてくるんですね。雨が降ってるわけじゃないのに眼鏡をかけていたら前が見えない！ ちらでも風が吹けば雨と変わらない！ ...ホテルへ帰ることにしましたよ。しかしそんなにバスがしょっちゅう通るわけもなく、次のバスが来るまではもくもくと歩く。お昼時だったので交通量も特に少なく、やっと通ったバイクのお兄さんを捕まえて次の町まで乗せていってもらいました。

ここは前向きに！まあ明日は移動日だし、ゆっくり準備ができると思えば...
ところがホテルへ着くとまたもや停電中。撮影セットを担いだまま4階まで急な階段を上ります....
これはもはやいじめ？



18:30以降に停電されるともう何も出来ません...
(フィルムの詰め替えには最高だけど)

◇4月10日

ハノイへの移動日。は、早朝から停電。約20kgのバックバックを背負い、同じく約20kgのカメラバックを持ち、絶対に壊したりできないものをまとめたトートバックを引っ掛けて再びあの急な階段を今度は下りる。するとカウンターには人がいない。バスが出てしまうじゃないか！と一人静かに焦っていると、たまたま通りかかったおっちゃん(おそらくホテルのスタッフではない)、チェックアウトしたいのか、ちょっと待てる、と言って何処かに電話をかけてくれました。一体誰に？ と思いながら待つこと約5分。受付の兄ちゃんですね。市場で果物でも買っていた様子。朝っぱらから勤弁して〜；

バス移動はもう慣れたもんです。行きよりもすいすいと進み約7時間半程でハノイのバスターミナルへ。ホテルへチェックインした後、だいぶ時間があったので周辺を散策。ホアンキエム湖の近くでぼんやりしようかとも思ったのですが...





うるさくてうるさくて五月蠅くて。

田舎に慣れてしまったんでしょうか。常に静寂が隣にあったので町の喧嘩が堪え難くしょうがない...
美津野で和食と日本酒をいただいてさっさと就寝しました。

◇4月11日

この日は何をしようかと以前から考えていたのですが、野尻がどうやら体調を崩してまだハノイにいるらしいので様子を見に行ってみることに。前日に連絡を取ってホテルのおおよその場所は分かっていたのですが、何を恥ずかしがってるのか部屋番号を教えようとしないう野尻浩行24歳！
当日受付のお姉さんに聞いたらあっさり教えてくれました。うーん..いいんだろうか...



体調は回復したものの、撮影が思うようになく帰ってきて休んでいたらしい。寝起きのようでした。お昼も近かったので連れ立つことに。旧市街をくたくた・ぶらぶらしながら、富田さんおすすめの本ンチャ屋を探して...

約3時間。

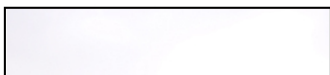
のっち ごめん。

でもおいしいところを発見しましたよ！ 混んでいたのが2階に通され、つけ汁は2種類&白身の魚を使った揚げ春巻きも山盛りで付いてくる。野尻につられてビールも頼んでしまいました...
まあほとんど調味料の加減に失敗したヤツの胃に収まりましたが(笑)。



お昼の後は各自好きなように、と思っていたのですが、野尻があまりにも笑...おっと違った悲惨な...いえいえ辛そうなので、これからカフェに行くんだけどアイスくらいあると思うよ、と結局また二人連れ立つことに。ハノイの休養日には絶対行ってまったりしてやる！と決めていたホアンキエム湖北のカフェへ。

テラス席をゲット！





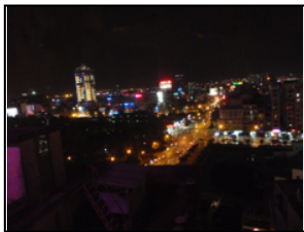
会話無くなるだろうなー、と思っていたら意外や意外、結構話したりぐだぐだしたりまったりしたり。
後で時計見て驚いたのなんの。



◇4月12日

ホーチミン学校指定泊への移動日。初の一人飛行機移動です。やってみると案外あっさり。気がかりだった荷物も引っかからなかったし。でもCAのお姉さんやら同じ飛行機のおばちゃんやらにやたらベトナム語で話しかけられる；朝食のメニューベトナム語で言われても分かんないって！ライス？ヌードル？ヌードルブリーズ！そんなベトナム語はしてないと思うんですけどねー...

ひとつ後の便で来る野尻を待って指定泊へ。ホーチミンは都会です。同じ国でもハノイとは随分違うことが色々あるようでした。



◇4月13日

カンボジアへの移動前日。実は以前から浅井の生誕記念パーティーをやろうと計画していました。先にホーチミン入りしていた浜口にプレゼントするアオザイのお店をチェックしてもらったり、岡田が良きげなケーキ屋さんを探してきたり...アオザイは市場で購入することになりました。他の女子とはぐれたりしながら似合いそうなものを発見！しかしこのお店のおばちゃんがこれまたふっかけてきやがりまして。120万VND!? ありえないありえない！あっちで似てるの26万VNDで売ってたし！こういう時はちょっと日本語が出来るのも逆にタチが悪いです。3人が値下げ交渉をするも中々下がらない。のでどうとう参戦。

- 半分！(おばちゃん)
- 半分でも高い！
- じゃあ45はあ？
- 45..でいっか？ だいぶ下がったよ..(谷本)
- いやちょっと待て！それ高いから！26！
- むりむり、これ生地いいやつよー 40！
- じゃもう店変えよう！さっきのと此行こさっきの。
- わかったおねえさん、30、30で..
- 28！！！！

もうちょっといけた気が... しくもないけど。生地もちょっと良いものなのでまあいいか。お次はケーキです。アオザイ探しに大分時間をかけてしまったので大急ぎでケーキ屋へ。メモ帳に「かすみ」って名前を書いて、これ書ける？とお店のお姉さんに依頼。結構上手でした。みんなテンション上がってたし、店先で拍手喝采浴びてお姉さんもまんざらじゃなさそうだった(笑)。

それをホテルへ持ち帰っ...たのはいいが、冷蔵庫に入らない！
浜口部屋の冷蔵庫を軽く解体しました。9.5割までは収まった。よし！

みんなは8時に局長部屋へ集合。浅井と同室の自分は、知らないふりで部屋にて待機。準備できたら内線で呼ぶから〜と。



まあ... 成功、か？ 局長にもご協力頂いて電話で呼び出してもらいました。
地味っちゃ地味だけど、部屋暗くしてケーキにロウソク付けて。ドア開けた時逃げたそうだったな～（笑。お誕生日ソング歌ってアオザイ着せて記念撮影。そして全員がケーキにかぶりつく！！
ベトナムは韓国・台湾とは一気に様相が変わるのでみんなの気分転換も出来たら、と思っていたのですが... 全員思ったより元気でした。うん、遅しくて結構なことです。



◇4月14日

カンボジアへの移動日。サイゴンの魅力を掘みかいていたところだったので残念でした。せめてもう丸1日あれば...
ホーチミンのイメージは、東になった電線と ハノイとは違って整然とした、東京マラソンのようなバイクの群れ。



そしてブノンベンへ。

カテゴリ：
post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.20 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

10.04.15

豚の角煮

[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)

◇4月15日

カンボジアへの約7時間のバス移動。その間ずーっと、何を見てもなしに窓の外を眺めてすごしていました。

出発して数時間後、空がカンボジアっぽくなってきたなと思ったら、国境に到着。風景ががらりと変わるわけではないけれど、着いてみればやっぱりベトナムとは曇りの質が違う気がするし、なにより水の気配がずっと濃くなります。さすが氷の国！シェムリアップの近くにはトンレサップという大きな湖がありますが、古代クメールの王たちはいかに水を巧く治められるかで評価されたとか。

自分にとっては、2度目のカンボジア。バスの窓から平野を眺めながら、色々なことが思われました。

かつてあった内戦。

20年ほど前でしょうか。ちょうど5期生の大半が生まれた頃です。去年あたりには確か裁判もやっています。日本の新聞でも小さい記事ながら報道されていたのを覚えています。裁くことが出来る相手は、もうすでにかなり限られています。

カンボジア地雷の目的は、人を殺しきらないことにあります。上記とは矛盾した言い方になってしまいますが、それを、同じ国の人か、同じ国の人を殺すためにやった、ということがとても恐ろしい。ナチスドイツのユダヤ人大虐殺は、変な喩えですが子供が石を投げるような、純粋に割り切れる悪があるように思います。自分とは異質な民族を廃絶する、という。でも、カンボジアの内戦はそうではありません。

日本をまとめるために奔走した、坂本龍馬の気持ちが少し分かる気がします。

違う考え方を持つ人を自分とは異質なものとするにしても、同国人を相手にそういうことが出来る。カンボジアだけに当てはまる話ではないのかもしれませんが、当時プノンペンにあるトゥールスレン刑務所で処刑された人たちの写真をまとめた「キリングフィールド」という写真集を見ていると、その背景にある人の心を思うにあたり空恐ろしくなってくるのです。

「死者だけが戦争の終わりを見た」

古代ギリシアの哲学者、プラトンの言葉です。小さい頃はよく分からなくて変な解釈をしていました。その戦争を終わらせるために、結果的にたくさん死者が必要になってしまった、という意味かな、と。なんでそんな解釈をしていたんだか分かりませんが、そうじゃなかったんです。もっと単純で、もっと言葉そのままの意味。

本当に戦争の終わりを迎えられるのは、死者だけということ

自分自身の終焉である死を迎えることによるのみ、戦争が終わる。世界でいくら内戦は終わったと言っても、銃弾が飛んでこなくなっても、戦争に終わりはない。それは人の心や体や、土地やあらゆるものに在り続ける。特にカンボジアは、地雷や不発弾という危険な形で戦争が残っています。子供たちは直接の戦争を知らないけれど、でも残った戦争については、知らないではられない状況にあります。

日本では、私たちの世代は「戦争を知らずに育った」などという言い方をされます。時には避けた意味を含んで。それがどれだけ運の良かったことなのか、私たちが自覚できているとは言えないのでしょうか。カンボジアの子供たちも、いつか本当の意味でそう言われるようになればいい。でも、それはいったいどれだけ後の世のことになるのでしょうか。

カンボジアの平原を見ながら、子供の頃 野原をおもいっきり駆けまわって遊んだ楽しさを思い出しています。

カテゴリ:

post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.15 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ](#)

10.04.13

K & K → T

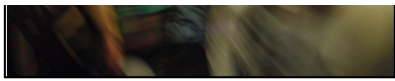
[Tweet](#)

いいね! 0

[チェック](#)

【K】







[K → T]





カテゴリ：
post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.13 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ

I

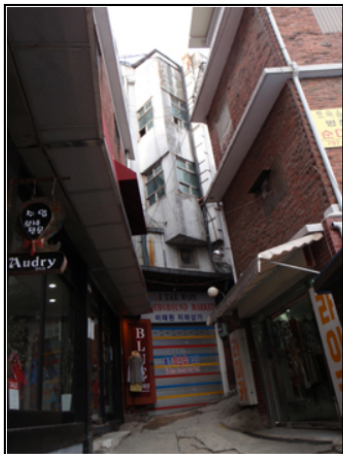
[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

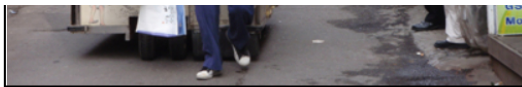
[チェック](#)











カテゴリ:

post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.13 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

10.04.11

美津野で夕食をたべてきました

Tweet

いいね! 0

チェック

◇4月5日 (後半)

ベトナムは英語が通じないーとさんざん言ってきましたが、それがどうした。どこに行こうか結局は自分次第です。待ってる姿勢じゃ何も変わらない。

原因はいろいろありますが、キレしてしまったこともあって「これは自分が歩み寄るしかない!」と急いでベトナム語を覚え直しました。

簡単なあいさつに、疑問文、自己紹介、お礼、いくつかの単語。

市場へ突入して試した訳ですね。感触は...結構イける!

こっちの言葉で挨拶をするだけで帰ってくる微笑の数が断然多いです。

見方を変えると、外国人っていうだけである意味有利な立場にいるんですね。相手を笑顔で罵倒できるし、分からない時は思いっきり分からない!って言えるし、たいていの奇行は多めに見でもらえるし。



Lam the nao de den duoc dia chi nay?

(↑「この住所へはどう行けばいいんですか?」発音はだいたいそのままです。でもパッと見分かんないですよー)

3人くらいに道を聞いて公安へ。正確には「カオバン省外国人出入国管理局」。2階建ての、思ったより小さな建物でした。窓口とか受付といったようなものは見当たらず、大きなドアを入るとすぐいくつかの個室に別れています。個室のドアはそれぞれ閉まっているので、入っていいものかどうか....

通りかかった制服のおじさんが、明らかな外国人と見てオフィスに連れて行ってくれました。

「私の名前は〜といいます」

「日本人です」

「観光に来ました」

「バンゾック滝へ行きたいのですが」

筆記でも同じ文を書いて、それを見せながらの説明。

「Thac Ban Gioc (バンゾック滝)」と言って譲くと、あっさり手続きに入ってくれた様子。

お〜、成功?

しかしそう甘くはなかった...

今日これから行きたいのかと言われ、いえいえ、4/6,7,8,9って4日間行きたいんですよ、と言ったところちょっと困った顔をされて。

えー、何?と思ったら私服の若い男の人を連れて来られました。「Can you speak English?」

え、喋れる人いるの!? でも思いっきり私服なんですけど! もしやオフの人を召還した!?

-バンゾックへ行きたいんですね?

-ええ

-許可は3日しか出ないんです。ボーダー、わかりますか、ボーダー、国境があるので。

アナタ1人で行くんですか?

- 知っています。はい、行くのは私だけです。3日間なら出るんですか？
- あ、ええと（さっきのおじさんに聞く）1日です。
- （をい！ホントにこの人なのか!?）1日だけですか？ 観光でも？ 3日じゃなくて？
- 観光で来たって言ってましたよね？ 確かにパンゾックはベトナムでも最も美しいところの一つ
ですが、観光には1日あれば十分だと思いますよ。
- でも、出来れば4日行きたいんです。
- 1日あれば十分だと思います。
-

さすがに公安に喧嘩を売る気はないです。仕方がない.....
明日のお天気はどうでしょう？ と聞いたところ、そりゃもう爽やかに「晴れますよ」と言われました。ちょっと胡散臭い（質問流されてる？）気がしなくもなかったけれど、それじゃあ、と4月6日有効の入域許可証を入手。

◇4月6日

撮影です。
早朝から起きだして... と言いたいところなのですが、なにぶん山奥なので霧が。
なのでホテルでぐっすり朝食を取り、撮影場所まで車で片道2時間なのでまあ10時には（晴れるとしたら）晴れるだろうと8時半頃にホテルを出、ようとしたら....

「カオパンにはタクシーはありません」

と、カウンタースタッフに言われてしまいました；
バイクタクシーにするか？ とも思ったのですが、山道の上下り2時間を4x5と三脚その他諸々（トイレ紙ペーパーとか水とか食料とか）を担いでするのはちょっと...
そこで仕方なくバスに乗り込むことに。

2時間半かかりました。

現地の公安とかもそんなにビビリしていたりする訳じゃなかったです。どちらかというとのんびり？売店のお姉さんがたとサクランボつまんでたりとか。
滝のすぐ下まで行ったんですが、まだ雨期ではないので水量は少なめ。でも綺麗でした。景色を見る時はいつも被写体探しをしてしまうので、久しぶりにそれ自体にぼーっと見入ってしまいました。

中国との国境という実感はなかったですね。島国の出身だから うというのものもあるんでしょうけど。水牛も何頭かいたんですが、川の中程をさくさく歩いておりました。向こう側に行っちゃったら牛飼いはどうするんでしょう？

撮影は...あまりよろしくはなかったです。残念ながら；。
こう...谷になったところに滝があって、
周りに水田があるんですが、
高い場所は滝の下まで降りる道以外 全部「森」なので...
まさか中国側に渡るわけにも行かず...

17:30を過ぎると滞在しているカオパンの町の雰囲気あまりよろしくなくなるので、リミットは一応15:00。ぎりぎりまでねばりました。最後は公安の方にお願いで建物のテラス部分から撮らせて頂いたりもして。
空は晴天。後日はハノイに戻るまで曇りだったり雨だったりしたので、運がよかった...！（公安のお兄さんに感謝！）



（そういえば何を撮っているのか説明してなかった；。すみません、次回します；）

カテゴリ：
post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.11 | [バーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラフィック \(0\)](#)

「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.08

語尾とか文法とか変だけど、今回は許して下さい

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

Copyright © 2010. All Rights Reserved. 小林 真純

言葉って、本当に何かで表現しようとするとなかなか難しいよね。
ぴったり合うものがない。
尽くそうとすると、逆に言いたいことから離れていく気がする。
まあ、そういうものなんだろうけど。

-
月日は百代の過客にして
行きかふ年もまた旅人なり
舟の上に生涯を浮かべ
馬の口とらへて老いを迎ふる者は
日々旅にして、旅をすみかとする
古人も多く旅に死せるあり
-

言わずと知れた松尾芭蕉の「奥の細道」です。
どちらかというと、序文の中でもこの後に続く本人の心情よりこっちの方が好きでした。
一生旅をしている暮らしてどんなかな、とか。

6日の撮影日に、撮影場所までの移動の高バスに乗り込みました。出発の際に運転手が誰かと話をしていて、ふと見たら、ハノイのバスターミナルで会った青年。

ハノイでチケットを買いに行った時に、これからカオバン行くよってバス会社の名刺を持ってきた客引きの青年がいました。彼とも、いやだから今日行くんじゃなくて3日に行きたいんだよ、その日このバスあるの？なんて問答をして。やっぱり話通じなくて、それでも"20:00に出発するから"とか言ってて。最後には困った顔して笑ってた。

こうやって書くとき当たり前なくらいそのまんまなんだけど、あの日にこっちへ来て、その後またハノイに戻って、それからまたこっちに来たんだろうな、と。向こうは全然気付いていなかったけど。

芭蕉の文を思い出しながら、こんな感じかって、それまで頭で考えていた、そういう在り方っていうのがすとんと入ってきた。

映画の「海の上のピアニスト」の、主人公の義理の父親とかもそう。あれは石炭をくべる人夫で、はっきり言ってもすごい脳役だったけど、何故かすごくイメージが残っていて。なんというか、それだけ、そのことだけ、それが、出来なくなったら終わるんだなみたいな。別に旅に死んだりする訳じゃないだろうけど。

とある場所から
流れ、流れて
違う場所に行き
出会い
別れ
また発ち
また流れて

細かいこととか考えると一概には言えないんだけど、彼らにとってはそのバスが、船であり馬。

旅をすみかにするっていうこと







8日現在、今度はカオバンへ来るのに乗ったバスの少年と会いました。隣のバスのお見さんと話していたのが、脇を通り際にこっちに気付いて。こっちはもうバスに乗り込んでたし、端から見たらあやしいかぶり物とかもしてたのに。
いや、最初好しんでたっていうかっていうか、二度見とかしてたけど。;

ちょっと迷ったみたいだけど、話しかけてくれました。ベトナム語しゃべれないってわかってるのにね。
おれのバス乗ってきたよね、みたいな。

- これからどっか行くの
- バンヅック滝に行くんだ。昨日も行ったんだけど
- 帰りはまたハノイ?
- そう
- またミーディン?
- そうだよ。10日だけだね。その日はいるの?
- これ渡しとくから。また俺んとこ来なよ。出発は6:30だから

(あくまで、そんな流れでした、ってことだけど)

そのあと、隣のお兄さんに、あの人おれのバス乗ってきたんだ、ハノイから。みたいなこと言
ってて。
来る時はほとんど喋ったりしなかったし、どちらかというちょっと遠巻きにされてただけ
ど、別れ際に手を振ってくれた。左耳につけた透明な石のピアスがすごくよく似合ってた。



多分、彼は明日の朝発つ。10日の早朝までには戻って来ないだろう。

カテゴリ：
post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「ソノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.06

あきなが龍を飛ばしたから....

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

思ったんですけど、別にブログって毎日分UPしなくてもいいんですよね。
....なにやってんだろ。

誰かさんも言ってたけどなんだか引率ブログみたいになってるし。これからはもっと考えて書
きます；
では、4月2日からどうぞ（ーオイ）

◇4月2日

カオバンへの移動日。5:30にタクシーが来る予定なのでまあ起きる時間もそれなりになる訳で
す。浅井こめんね。しょぼしょぼだったね（笑）



早朝のハノイは別の町みたいに交通量が少なかったです。前回1時間以上かかった道程を30分ほ
どで完走。例のおばちゃんの窓口でチケットを買い（隣のお姉さんのところになんか行く訳な
いじゃありませんか!）当初7:00の予定だったところを変更して6:10のバスへ。
しかし。

出ない

まあそうなる気はしてましたが。満席にはならない路線だとしても、この国で乗客を二人し
か乗せないバスなんてある訳がない! 案の定 呼び込みの兄ちゃんが客を集めに行き、出発した
のが6:57。そしてなんと! バス乗り場を出たのが7:11!!
..すごいよね....





バスといってもミニバス。マイナーな路線なので

しかも兄ちゃんの携帯がしまり鳴りっ放し。何かと思えばお客さんからの拾客要請みたいでした。
バス停も何も無い所でどンドン拾う どンドン拾う...

気付けば満席。
なるほど。こうやって稼いでいくのか。

この日の移動、実は一つ不安要素がありまして。
時間です。

日本で調べた時は8時間って書いてあったんですよ、確かに。あの地球上のあらゆる歩き方を教えてくれる本です、ええ。ところが岡田の助言に従ってGoogleアースで調べたら4時間半で行けると出る。この辺で不安になって、現地の旅行会社に聞いてもらったら7時間くらい、との返答が。

じゃあ4時間ってことはないだろうけど 8時間はかからないだろう、
と考えたワタシは悪くない！
本来のバスの出発時間から教えて4時間経っても7時間経っても、8時間経っても着かない！
しかもバス停等があるはずもなく、ホントに目的地に向かっているのか？ 乗り過ごしたりしないか？ とどンドン不安が押し寄せてくる。こんなとこ（山の中）で万一降ろされたりしたらどうすればいいんだ！
カオバンは北の山岳地帯の中にあるので、8時間を経過したあたりで不安に拍車をかけるようにホワイト・アウト。
どこへ行くんだー



結局9時間半ほど着きました。酔がってくる客引きの運ちゃんたちをモーセのように割って、ホテルへ着いたのが4時過ぎ。

「公安閉まってるじゃん！」

実は、ここでの撮影には公安で発行される入域許可証なるものが必要だったのです。申請にかかる時間は半日。ちなみに日曜日はもちろん公安はお休みです。
当初は移動日(土)に即、申請をするつもりだったのですが....

4/3(土)：移動日。カオバン到着後公安施設へ直行。許可証の申請。
4/4(日)：休業日。夜撮影準備。
4/5(月)：午前中に許可証受取り。その後撮影へ。夜、電話定時連絡。

完全に予定が崩れました。日曜は公安やってないし元から休業日だったからよしとして、月曜の午前中に申請するたる、早くても受取りは午後、しかも公安の午後の営業時間は14:00～16:00。14時に受け取って即撮影へ行っただとしても撮影地までは片道2時間、余裕もって2時間半かかるとして....

なんて

考えるまでもありません。行って帰ってくるだけでも定時連絡の時間を過ぎてしまいます。無理です、不可能です。
1時間30分、白い顔に耐えた精神にもさすがにストレス過多でした；

カラーフィルムを使用する場合、現地から一度日本に送って現像したものを、スクリーニングの為にマレーシアにもう一度送ってもらう形になります。輸送時間やらゴールデンウィークやら諸々を計算すると、第1回のスクリーニングで確実に提出出来るのはベトナムまでの撮影内容。韓国は雪で撮影中止だし、台湾もほぼ撮れなかった。のに、ベトナムの撮影日が丸1日削られる

なんて！

そんな中、タイミングが良いのか悪いのか、富田さんからの連絡が。
思わず指んでしまいましたよ、薬を。

富田さん、ごめんなさい。患病ってしまいました；。
何をしなければいけないかは分かっているのに弱音吐きました。
あれは悩みを打ち明けるとか相談とかの類いじゃありません、完全に八つ当たりです。
ホントすみません；。(フォローメール送っとかなきゃ)

◇4月4日

休業日ははずなのに全く休業出来ない。許可証の申請をホテルの人に代理でやってもらいたいのに(公安での対応は現地語のみ)意思の疎通もままならない。朝ご飯も食い迷した。
その後全てが嫌になり、何人かとSkypeで世間話をした結果、いっそ宿を変えてしまおう！ということになりました。問題も一応あったし。内鍵がわからないとか。

速攻で手配をしてもらった現地の旅行会社に電話しました。(日曜休みだったけど担当者の携帯に直接)

いくつかあった問題点も挙げて希望を伝えたところ、なんとか御尽力して頂けるとのこと。
部屋に戻って繋ぎっぱなしだったパソコンで友人に伝えたら、なんだか自分のモチベーションが上がったのは良いがホテルを移る気満々に。これで無理だったら絶対落ち込むぞ自分！大丈夫なのか!?と冷や冷やしながら夜を過ごし。



ちなみに最初の宿の部屋



眺めは良いんだけど

◇4月5日

朝一で旅行会社から電話がかかってきました。9時頃でしょうか。まあいつ連絡が来るかと6時から起きて待っていたのでちょっとやきもきもしましたが。
そして無事宿の変更が決定。今日いつでももう片方のホテルへ行って下さって構いませんよ、とのありがたいお言葉を頂きました。ありがとうございます サエキさん！

そして前日に食い迷した朝食を食べ(おいしかったので後日夕食にも行ってしまった；)、変更した橋のたもとにあるカオパンで最も大きなホテルへ。
ところがここでも英語は通じなかった....

しかし！(富田さんに八つ当たりもして)すっかり吹っ切れた(というよりキレた、に近いんだけど)自分は何だかとてもアグレッシブルでした。意思の疎通が出来ないと判明すると、部屋に戻り、
全ての洗濯物を洗い、
外から見ると貧民街のような市場に突入し、



最初市場だって分からなかった；

腹を満たし、シャワーを浴び
いざ公安へ！！

カテゴリ：

post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.06 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラフィック\(0\)](#)

「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.04

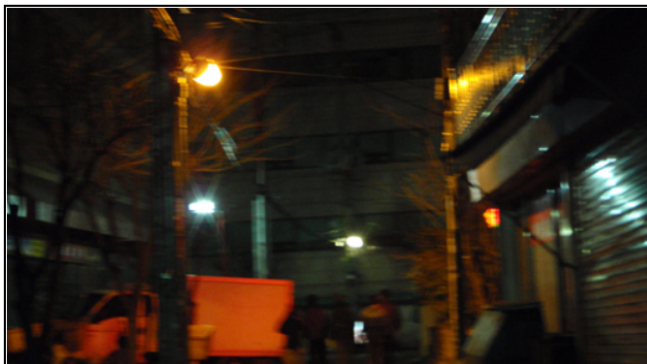
C

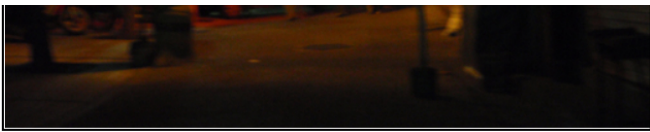
Tweet

LINE

チャット









カテゴリ：
post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.04 | [バーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ](#)

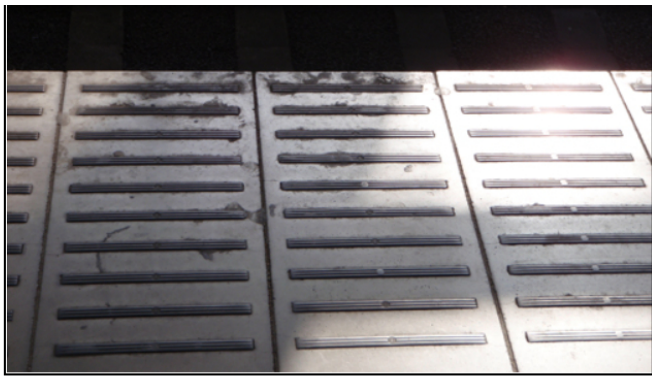
J → S

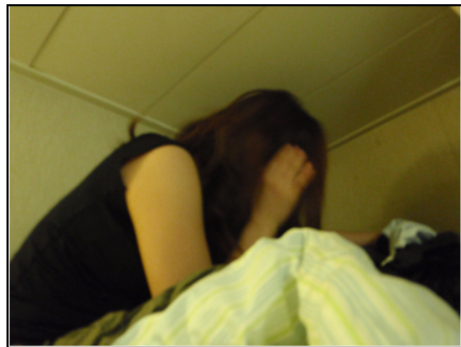
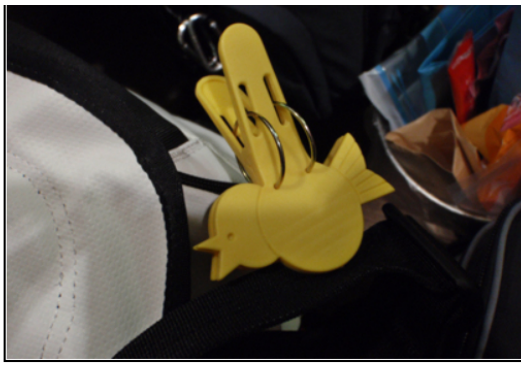
[Tweet](#)

いいね! 0

チェック







post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.04 | [パナマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.02

■ HONDA | TOYOTA | HONDA |

はははTOYOTAとHONDAについて

Tweet

いいね! 0

チェック

◇ ベトナム入国日のひと騒動

ホテルから約1時間のミーディンバスターミナルへ到着するも、窓口に人がいない! しかも何人か残ってるおばちゃんたちは何だかもうお金を集計してるっぽい! でも現地の人たちはそこにちょこちょこ出入りしている...
いけるかなーと、紙に日付やら目的地やらを書いて会話を試みるも、こちらを見るでもなく首を横に振られ...
英語がわかる人が誰もいないんですね。しかも向こうは筆記とかで会話をする気がさらさらない! ねばってみたいものはいいものの...

そのうちおばちゃんがキレた。

向こうの言葉でめちゃくちゃに罵倒される。
しかも目も合わせないまま

「だから〜だって言ってるでしょ! 何回答せんのかよ! いいか減らしてよ!」

みたいなの。

もしかしなくても理解させる気さらさらねーなこりゃ+ため息。
意思の疎通が出来ないことにはどうしようもないので、それっぽい身なりの人に片っ端から英語が喋れないか聞いてみたものの該当者無し。

タクシーの運ちゃんとかでないかな? とバスターミナルの外で探してもヒットせず...
だいぶ時間も使ったし、今日はもう帰ろうか、と思った所へ声をかけた運ちゃんの一人が。

客引きだろうと断ろうとしたら、携帯を差し出してくる。なに?
どうやら、英語をしゃべれる人に電話をかけてくれたみたい。おお、ありがとう!

〈なにか、こまっていますか?〉
〈実は、今ミーディンバスターミナルにいるんですけど...〉
〈ごめんなさい、わかりません。もういっかい言ってください〉

×3..

.....だめか。

おっちゃんダメだったよ...ありがと。と、携帯を返して帰ろうとタクシーを物色し始めると、おっちゃんがまたもや携帯を差し出してくる。
今度は違う人らしい。いいの? 重ね重ねありがと!

しかし。

同じパターン...

今度こそ帰ろうとしたら、周りに群がって様子を見ていた客引きのうちの一人が誰かを連れてきた。
「May I help you?」

英語だ! しかも結構流暢だ! 助かった!?

助かりました。このお兄さんに事情を説明し、窓口まで一緒に行ってもらいました。あの怒鳴られたおばちゃんのところへ。
どうやら、チケットの前売りはしていないようです。当日に来て買え、ってことらしい。
それだけのことを知るのにめちゃくちゃ努力いった...

また何かあったら、とお兄さん(どちらかという兄ちゃん、て感じですが)に電話番号をもらいやつとどこかで帰路へ。
ちょっと冒険かとは思ったのですが、兄ちゃんの友達らしいバイクタクシーに乗りました。
当初はバイクタクシーを使わないつもりだったので相場が分からなかったけれど、お値段を聞いた結果行きのタクシーの3分の1以下ならまあいいか、と。

ホテルの名前を聞き間違えたらしく、一度違う場所に行かれたけど(メリアホテルという所。指定泊はカメリアホテル。向こうの人には「カ」の発音が難しそうだった)事故等には遭わずに帰って来れました。やっぱりタクシーよりすいすい進みます。

(でも4/2現在、車との衝突事故を目撃しました。交通状態はとても乱雑です。車線が無く一方通行なので、多数のバイクと少数の車と自転車、徒歩で横断する人などが入り乱れています。

原チャに4人乗りは割と見かけるし、お喋りしながら平行に走っているお姉さんとか普通にあります)

既に暗かったこともあり、実はちょっと楽しかったけど。





五十嵐先生へ
韓国、台湾、ベトナムと、未だに英語力を試す機会がありません。いま。
...かなしい。

post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.02 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[「シノゴのオンナ」 > 2010年04月 アーカイブ](#)

確信犯です

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

お問い合わせ先はありますが台湾最終口からの報告を

◇3月31日

この日はやることもあまりない。
同室の浅井も撮影場所が思ったようでないらしく、休養に専念し二人して9:30頃からだらだらと起床。
ホテル前のパン屋で朝食兼昼食を購入し、浅井おすすめの二二八和平公園へ。
春ですから、小鳥たちの声がにぎやかです。鳴き方も南国調。
大きな木陰で涼みつつおしゃべりに花が咲き、気が付けば3時間くらいたっていました；。



弟子じゃありませんよ



花を植えてる人たちがいました。すごく華やか

それから部屋へ戻って早めにベトナムへの準備。ホテルを出るのがam4:30。バックギもしくなくてはなりません。バックギ神トミーこと富田さんのご教授のおかげで、回を経るごとに小さくなっていくバックバック。本当、感謝です。ベトナム移動の際に量たらちょうど19kgでした。水物とかでもうちょい減っていくはず。

台湾最終日なので、夜は台北駅のモールにある大戸屋で和食。



メニューにかぶりついてた

おかわり可能なを良いことにみんなして頼む頼む；。厨房の音から察するに釜替えしてましたよ、あれは。
お店のおねーさん苦笑いです。

◇4月1日



バスの中は睡眠場所。みんな静かです。空港までの道のりはオレンジの街頭が縦横にたくさんあって、「銀河鉄道読みたくなる」とは起きていた時の岡田との話。

そして空港でNK佐藤さんとの別れ。嬉しそうだったなー...
まあ中国でまた会う日まで。日本に帰ってからもお世話になります。ひとまずお疲れ様でした。

ベトナム入国はさすがに台湾のときより気温差を感じました。しかもなんだかしっとして

る...
洗濯物乾かなそー... (案の定乾いていません；)

朝が早かったのでホテルについたのはお昼頃。細々したことをすませて、4:30くらいに移動日のバスのチケットを購入しておこうとミーディンバスターミナルへ行きました。他のみんなと違って、このバスターミナルは車で1時間くらいかかる所にあるんです。ちょっと遅いけど、ホテルの人にタクシーを呼んでもらえば大丈夫だろうと1人移動。かかったお金は15万8000VND。ベトナムの物価は日本円にして×0.005。台湾では食事が1回10元とかだったので感覚が追いつきません；。



ここでひと騒動ありましたよー (泣。
でも長くなるのでひと区切り。

カテゴリ：

post by 小林 真純 | 日時: 2010.04.02 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)